

令和2年7月3日

代替大会参加生徒の保護者の皆様

広島県高等学校体育連盟
会長 平田 浩一
広島県高等学校野球連盟
会長 山田 剛司

代替大会への関係者の入場について（お願い）

保護者の皆様におかれましては、平素から、広島県高等学校体育連盟及び広島県高等学校野球連盟（以下両連盟）の活動に協力いただき厚くお礼を申し上げます。

さて、両連盟では、広島県における運動部活動の全国大会の中止に伴う代替大会（以下代替大会）参加生徒の保護者の皆様に対し、令和2年6月19日付「安心・安全な大会実施に係る協力について（お願い）」にて、可能な限り感染リスクを下げ、生徒が最後まで練習の成果を発揮することができるよう、無観客での大会実施をお願いしたところです。

両連盟では、現在、代替大会での感染防止策の徹底を図るため、慎重に準備を進めているところですが、現時点での県内の感染状況や、本県のイベント開催基準が緩和されたこと等を勘案し、専門家からの意見を踏まえ、各連盟で大会運営について協議した結果、代替大会は、原則として無観客試合とし、一定の条件を満たした競技会場において、関係者（控部員及び3年生部員1名につきその保護者2名まで）が入場できることとしました。

関係者が入場することのできる競技会場につきましては、広島県高等学校野球連盟開催競技の全ての会場及び広島県高等学校体育連盟開催競技で、別途お知らせする競技会場としますので、入場にあたっては、各連盟での入場手続き（入場する関係者名簿への登録）の上、体調管理や感染防止策を万全に行うとともに、各会場での注意事項等を遵守していただき、円滑な大会の運営に御協力ください。

なお、今後の感染状況等により、入場の基準を変更する場合がありますので、何卒、御理解いただき、皆様の御協力をお願いいたします。

また、本大会に限り、試合に出場する選手や保護者等から、試合の映像を撮影し関係者が視聴することに関する承諾を得た上で、インターネット回線を活用した、会場外での限定的な映像の視聴を可能としておりますので、活用を検討してください。

(別紙)

インターネット回線を活用した会場外での 限定的なライブ映像の視聴について

代替大会の会場内にいる関係者が、インターネット回線を活用して、会場外の方と試合の映像を限定的に共有するためには、様々なビデオ会議ツールを利用した方法が考えられます。ここでは、ビデオ会議ツール等を使った映像視聴方法の例や代表的なツールを紹介します。それぞれのツールには、様々な制限や特徴等がありますので、利用される際には十分ご留意ください。

1 ビデオ会議ツール等を利用した映像視聴方法の例

- (1) 会場に入場している3年生の保護者が、スマートフォン等で試合の様子を撮影し、ビデオ会議ツールを利用して、会場外の家族とライブ映像を共有する。
- (2) 会場に入場している控部員が、インターネット回線に繋がっているパソコン等で、試合の様子を撮影し、ビデオ会議ツールを利用して、会場外の1、2年生の保護者等とライブ映像を共有する。

2 ビデオ会議ツール等の例

このようなビデオ会議ツール等を活用することができます

- (1) Google Meet
<https://gsuite.google.co.jp/intl/ja/products/meet/>
- (2) Cisco Webex
<https://www.webex.com/ja/index.html>
- (3) Zoom
<https://zoom.us/>
- (4) Microsoft Teams
<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/microsoft-teams/group-chat-software>
- (5) LINE
<https://linecorp.com/ja/>

3 注意事項等

- (1) 各ツールには、参加可能な最大人数、データ通信料や利用料金及びセキュリティー対策などの制限や特徴等がありますので、事前の確認をおすすめします。
- (2) ビデオ会議ツール等を利用したライブ映像の共有は、試合の映像を撮影し各校の関係者が視聴することについて、参加者が承諾した試合のみ可能としますので、各会場で確認してください。